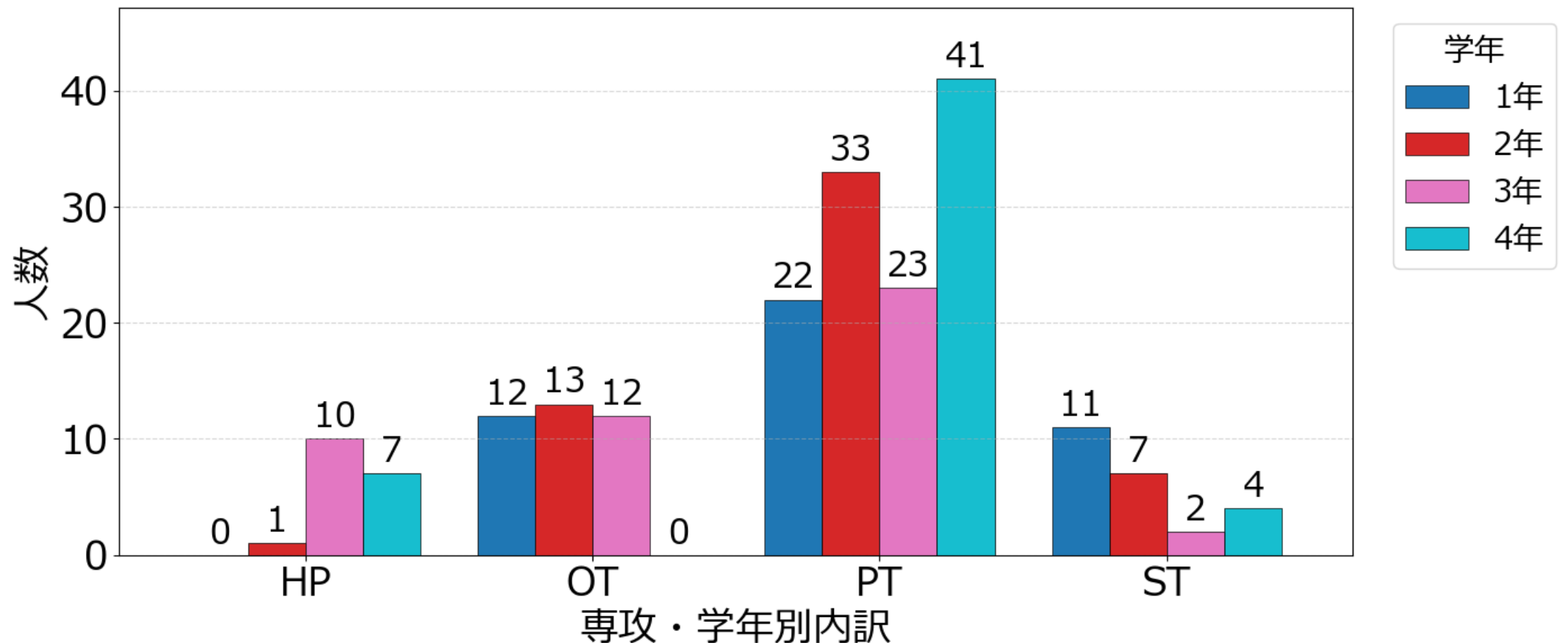


大学生生活と学修の現状把握 アンケート結果

①対象	在学生（全専攻・全学年）
②実施方法	オンライン，記名式
③実施期間	7/30(木)～8/17(月)
④回答者数	198名/291名（68.0%）

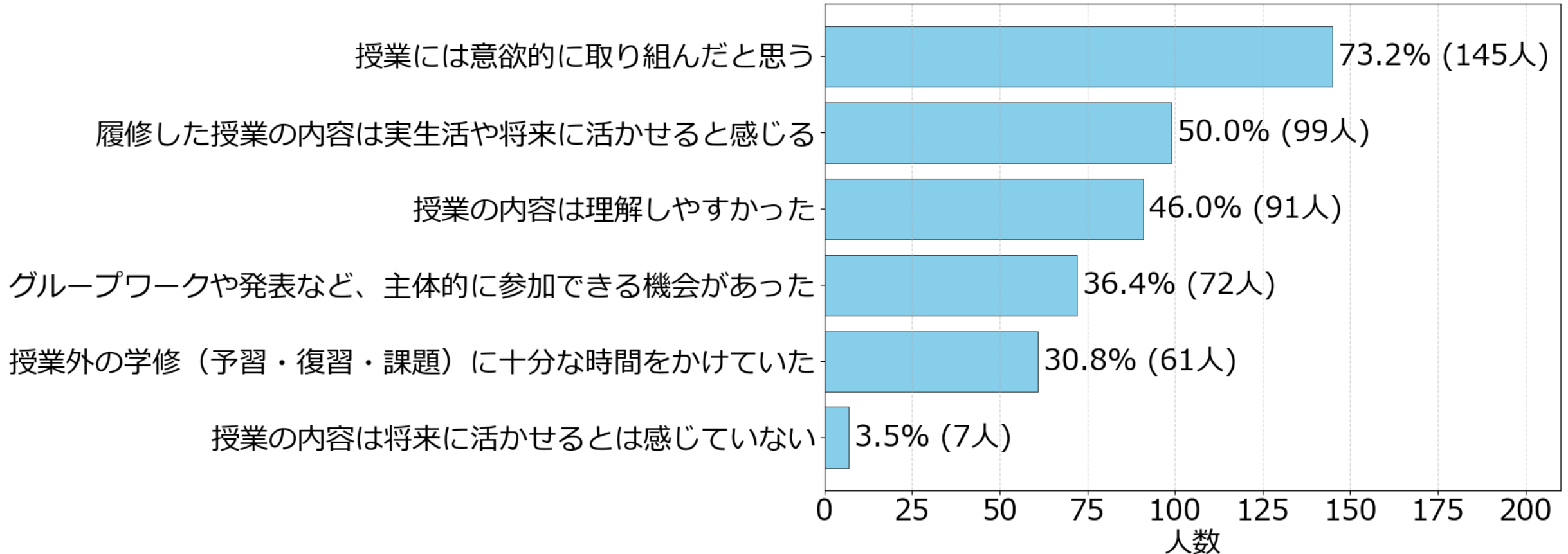
質問1・2 所属と回答者数

今回のアンケートには、全体で198名の学生が回答しました。各専攻・学年の学生から回答が得られています。



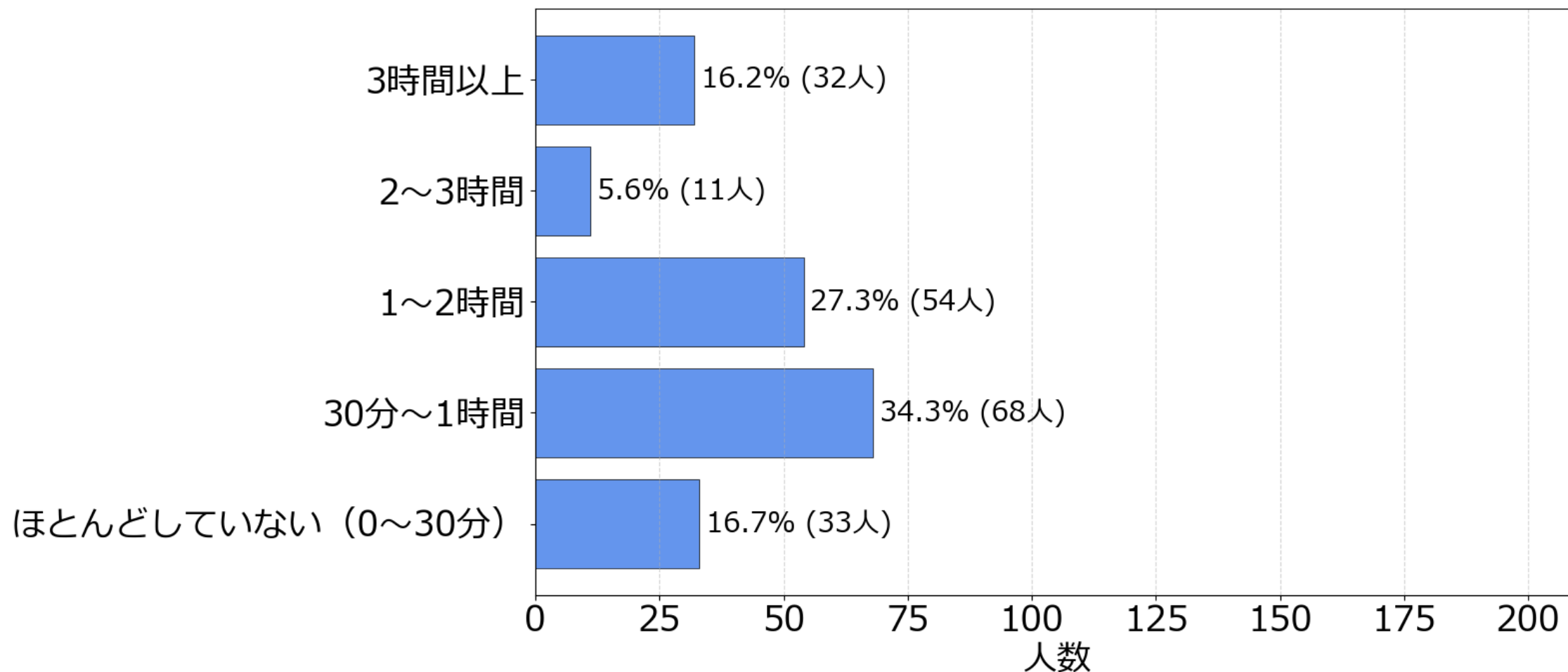
質問3 大学で受けた授業の状況について、あてはまるものに全てチェックを入れて下さい。（複数選択可）

「授業には意欲的に取り組んだ」が73.2%と最も多く、半数の学生が「授業の内容は実生活や将来に活かせる」と感じています。また、授業を通して、理解しやすい内容や主体的に参加できる機会があったと感じている学生も多くみられました。一方で、授業外の学修に十分な時間をかけていた学生は30.8%でした。今後のみなさんの予習や復習、課題などへの取り組みに期待しています。



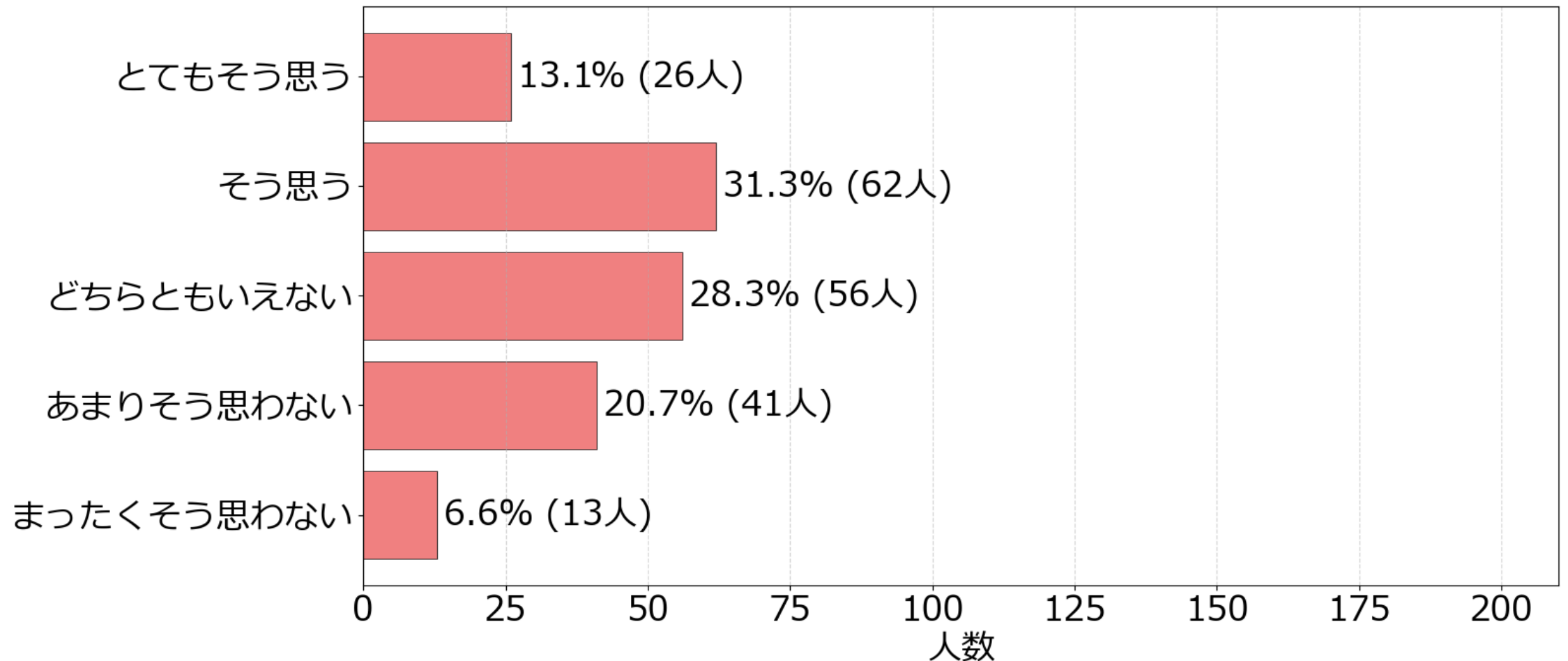
質問4 授業以外で学修に費やしている時間は1日あたりどれくらいですか？（予習・復習・課題など）（単一選択）

授業以外の学修時間は、「30分～1時間」が34.3%と最も多く、「1～2時間」が27.3%でした。毎日の学修時間は一人ひとり異なりますが、授業で学んだことを振り返ったり、少しでも自分で調べたりする時間を積み重ねることが、確かな学びにつながります。無理なく自分に合った学修の習慣をつくっていきましょう。



質問5 授業以外の学修時間は、十分に確保できていると思いますか？（単一選択）

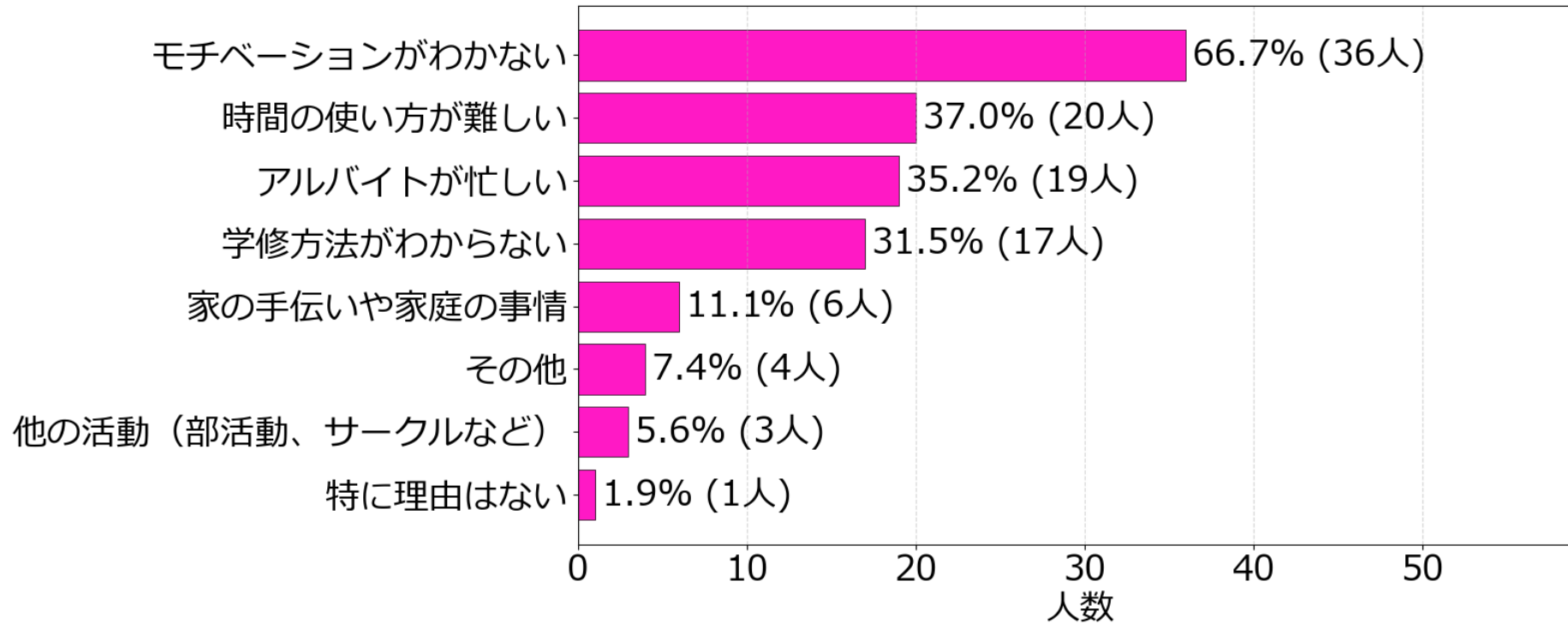
「授業以外の学修時間を十分に確保できている」は44.4%でした。一方で、27.3%の学生は「十分に確保できていない」と感じています。学修時間の確保は一人ひとりの状況によって異なりますが、限られた時間の中でも、少しずつ学びの時間をつくることが大切です。無理なく学びを積み重ねていきましょう。



質問6 授業以外の学修時間が確保しにくいと感じている方は、理由を教えてください。（該当者のみ、複数選択可）

「モチベーションがわからない」が66.7%と最も多く、「時間の使い方が難しい」が37.0%、「アルバイトが忙しい」が35.2%、「学修方法がわからない」が31.5%と続きました。学修時間を確保しにくいのは、「時間がない」ことが課題ではなく、「学修への気持ちの向け方」や「学修方法がわからないこと」も要因になっているようですね。「やる気が出てから始める」のではなく、まずは5分、10分でも始めてみることを、ぜひ試してみてください。

（対象者：54名）



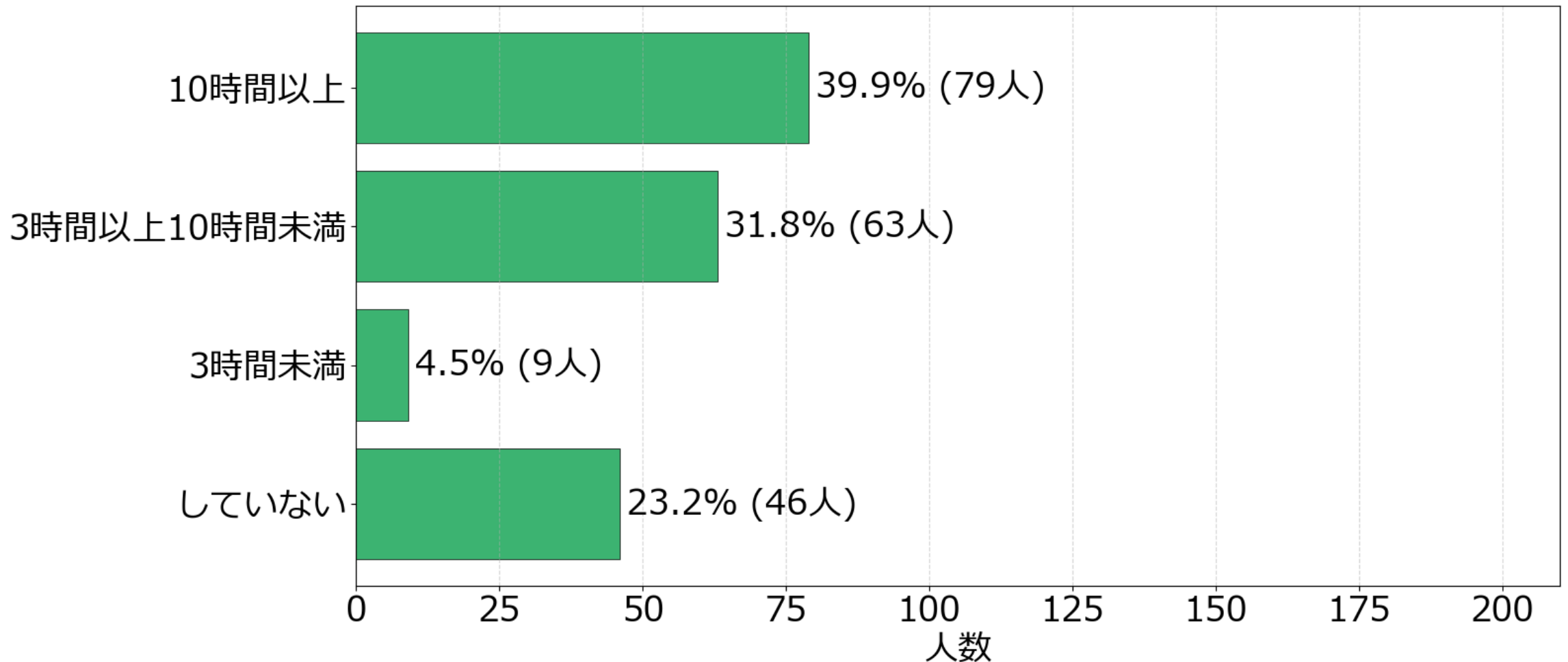
質問7 質問6で「その他」を選択した場合 具体的に記載して下さい。（該当者のみ）

家事や家庭、仕事、通学、教習、体調面など、さまざまな事情が挙げられていました。授業や課題、卒業研究と仕事や家庭を両立しながら頑張っている学生もいるのですね。限られた時間の中でも、無理をしすぎず、自分に合った学修の方法やペースを見つけていってください。

1	家事
2	教習と体調不良
3	ボーリングで回転が難しかったです
4	体力の配分が下手で、通学時間も長いので、平日学校に行って授業を受けるだけで精一杯だった
5	データサイエンス論はとくにスムーズに課題をこなせず時間を要します。仕事をしながらなので7月はとくに大変でした。卒業研究も進めないといけませんが、受講と課題でなかなか時間をとれませんでした。
6	仕事と家庭
7	正社員の為、勉強時間が足りないのと朝までの仕事のため1時限目が行きずらい

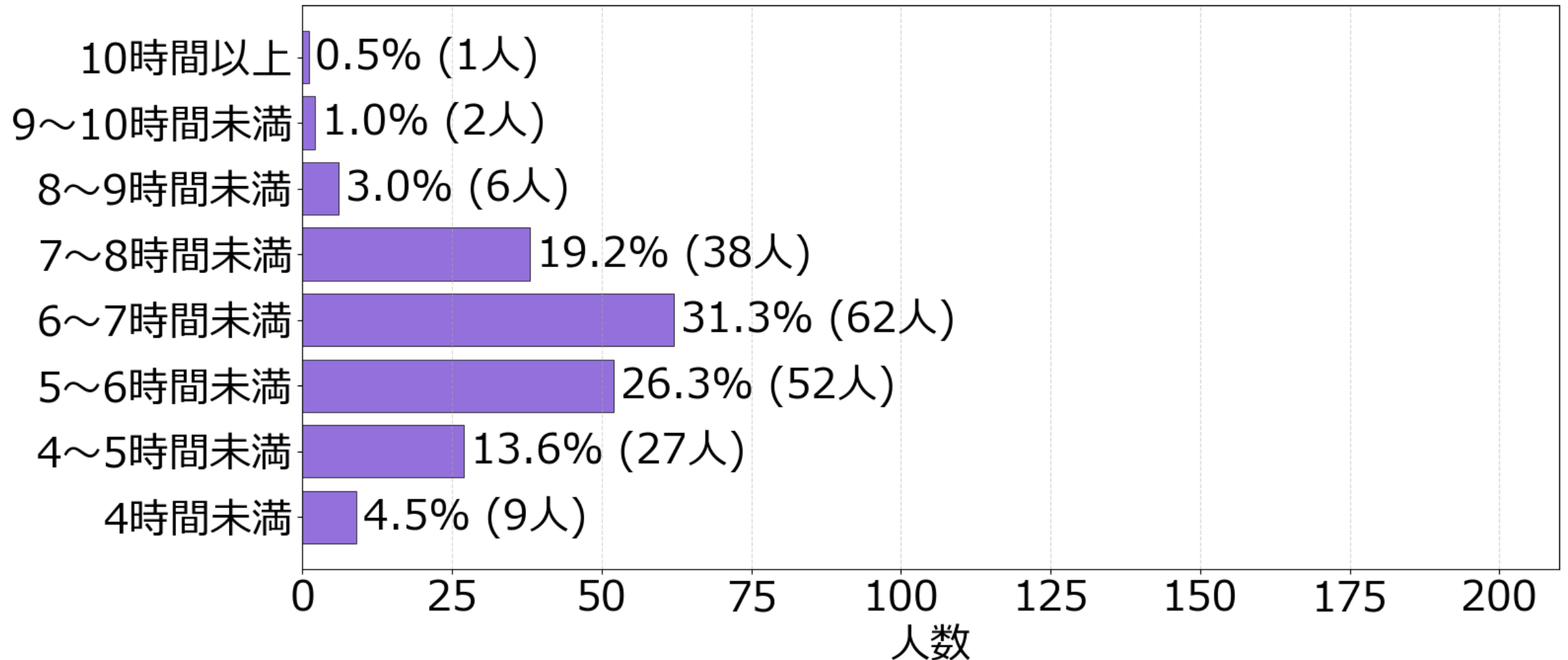
質問8 アルバイトに費やしている時間は1週間あたりどれくらいですか？（単一選択）

「10時間以上」アルバイトをしている学生が39.9%と最も多く、「3時間以上10時間未満」も31.8%でした。学業とアルバイトを両立しながら大学生活を頑張っている学生が多くいることがわかりました。



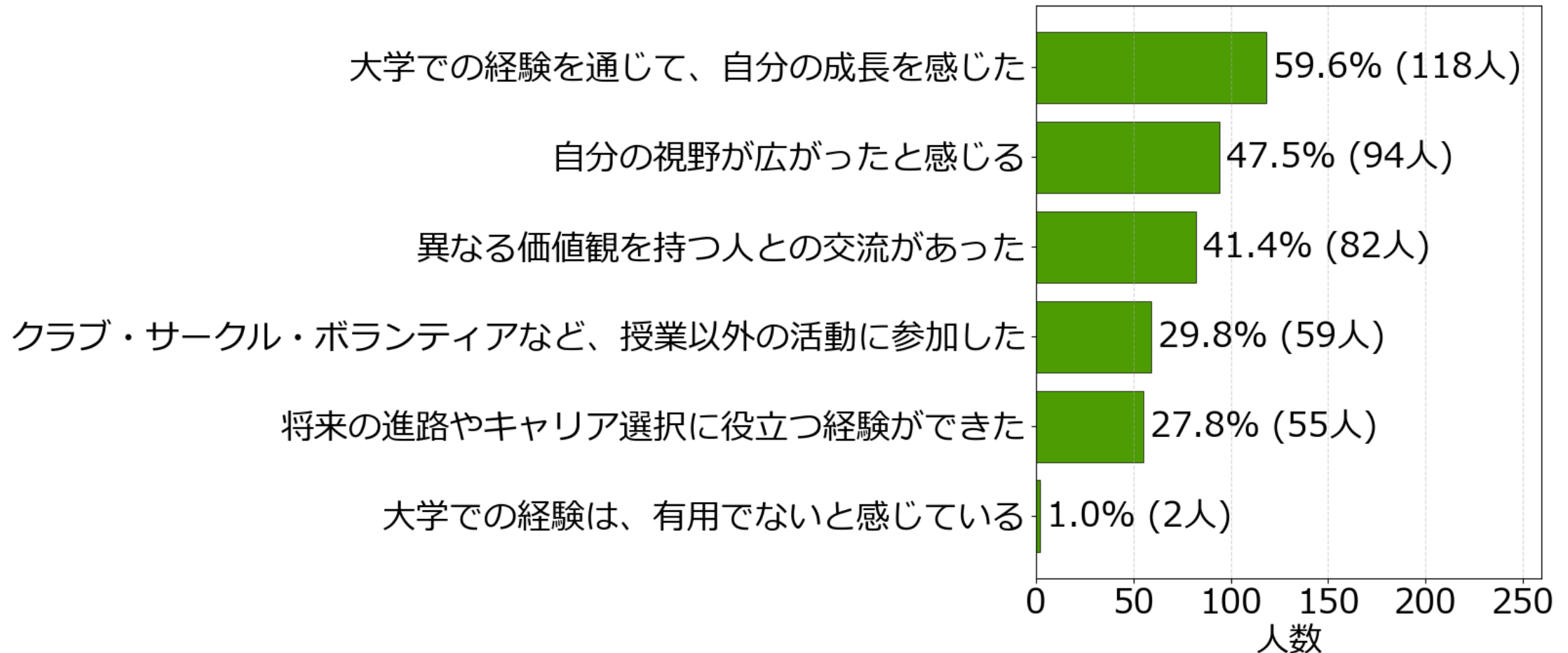
質問9 睡眠時間は、1日平均何時間ですか？（単一選択）

「6～7時間未満」の睡眠をとっている学生が31.3%と最も多い一方で、5時間未満の睡眠で過ごしている学生も18.1%（36名）いました。学業やアルバイトなど、毎日頑張っているのですね。無理をしすぎず、しっかり睡眠をとって、健康第一で大学生活を送ってください。



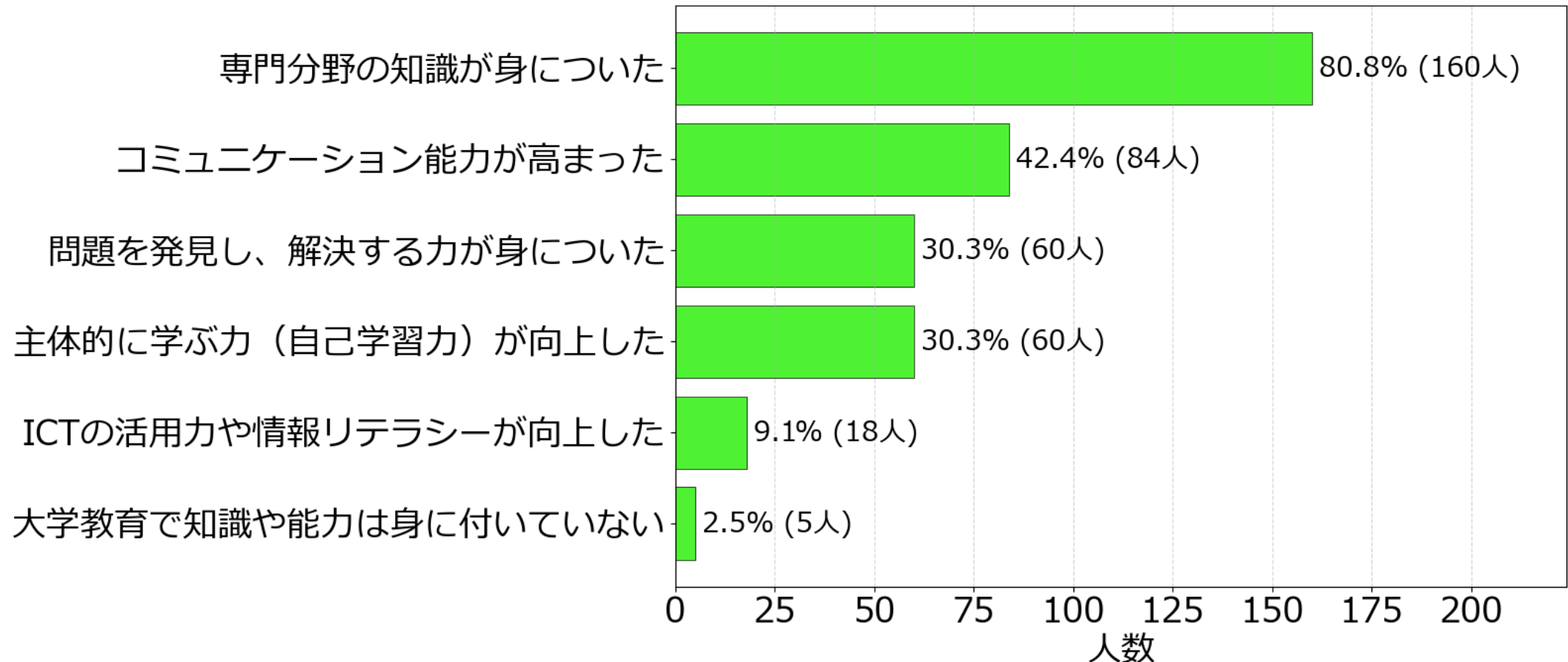
質問10 大学での経験とその有用さについて、あてはまるものに 全てチェックを入れて下さい。（複数回答可）

大学での経験を通して「自分の成長を感じた」学生は59.6%、「自分の視野が広がった」と感じた学生は47.5%でした。大学での経験は、知識を身につけるだけでなく、人と出会い、視野を広げ、自分自身の成長を実感する機会にもなっているようです。



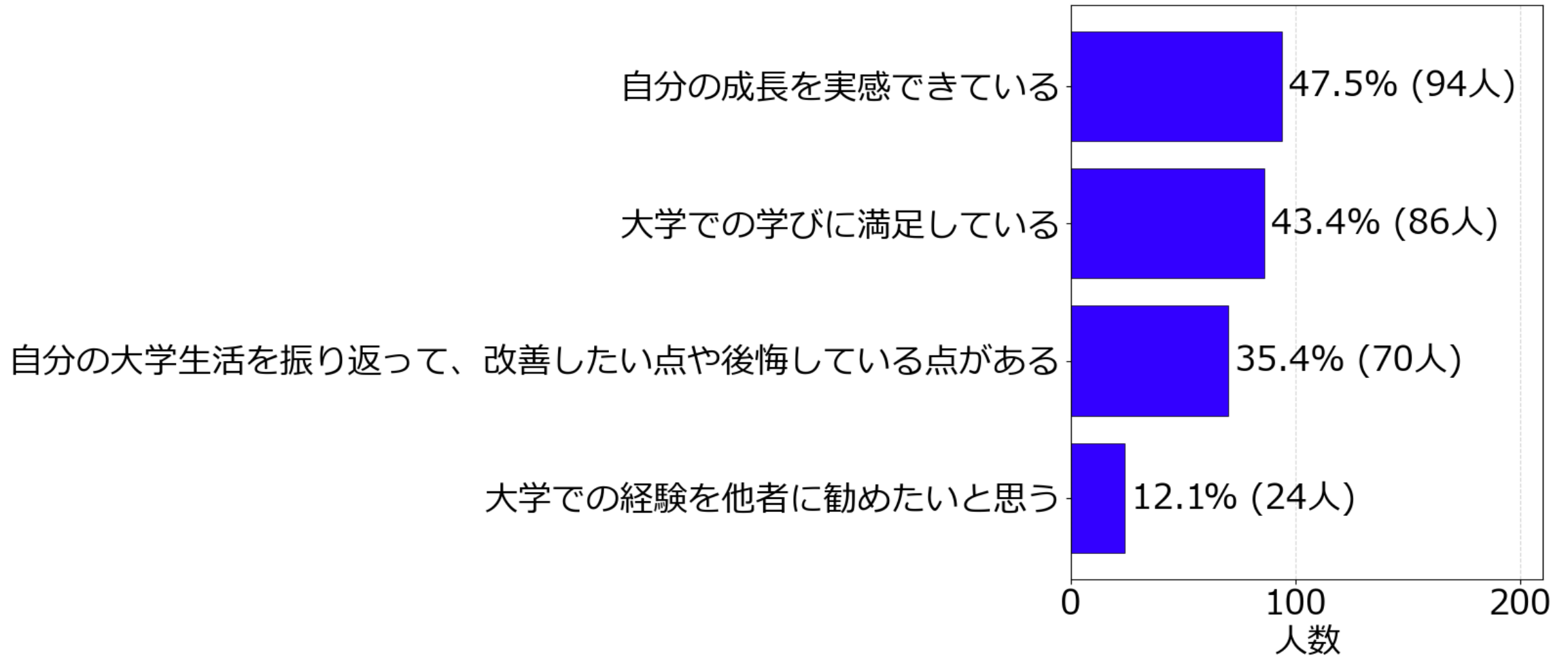
質問11 大学教育を通じて知識や能力が身に付いたかどうか、あてはまるものに全てチェックを入れて下さい。（複数回答可）

大学教育を通じて、80.8%の学生が「専門分野の知識が身についた」と感じています。専門知識だけでなく、コミュニケーション能力や問題解決力、主体的に学ぶ力なども、大学でのさまざまな学びや経験を通して培われているようです。



質問12 大学での学び全体の振り返りについて、あてはまるものに全てチェックを入れて下さい。（複数回答可）

「自分の成長を実感できている」が47.5%、「大学での学びに満足している」が43.4%である一方、35.4%の学生が「改善したい点や後悔している点がある」と回答しました。うれしかったことや成長を感じたことだけでなく、「もっとこうすればよかった」と思う経験も、大学生活における大切な学びの一つですね。



質問13 自分の大学生生活を振り返って、改善したい点や後悔している点を記載して下さい。（自由記載）

「勉強・学習面への後悔・改善意欲」が22.7%と最も多く、特に「1年生の頃からコツコツ勉強しておけばよかった」「日頃から予習・復習をしておけばよかった」といった記載が多くみられました。一方で、「これからは勉強量を増やしたい」「自分に合った勉強方法を見つけない」など、これまでの経験をこれからの学びに生かそうとする声もありました。 みなさん、がんばってください。

